

2017 ピース・ウイング長崎

平和のあゆみ



国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 追悼空間

公益財団法人 長崎平和推進協会

Nagasaki Foundation for the Promotion of Peace

Contents

公益財団法人 長崎平和推進協会	1
設立の意義	
沿革	
事業	
会員制度	
組織図	
公益財団法人 長崎平和推進協会事業概要	2
I 平和推進事業	
1 発刊	2
2 平和意識の啓発	3
3 国際平和交流	10
4 部会活動	11
II 長崎原爆資料館運営事業	11
III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業	11
IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業	12
V 収益事業	13
公益財団法人 長崎平和推進協会この一年の動き	15



公益財団法人 長崎平和推進協会

設立の意義 ※設立趣意書から掲載

原子爆弾の惨禍を身をもって体験した長崎市民は、国境を越え、人種を越え、考え方の相違を乗り越えて、全世界に向かって恒久平和の実現を訴える責務があります。全ての社会秩序の根幹は平和であり、平和でなければ、文化の向上も、科学の進歩も、経済の発展も望めません。しかし、現実の世界情勢は、核兵器の増加拡散が、また局部的な紛争や東西間の緊張がとどまることなく続いています。

長崎市は人類史上最後の被爆地でなければなりません。長崎市民は、全人類的な視野に立って、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に寄与するとともに、人類の福祉に貢献することが必要であると考えます。

沿革

長崎市は、原爆被災都市ナガサキの使命として、従前から長崎市の固有事務として各種の平和推進のための施策を行ってきました。

しかし、行政独自では種々のあい路があるところから、この施策をさらに効果的に施行するために、昭和58年2月、広く市民の参加を求め、初代理事長 秋月辰一郎氏の「小異を残して大同に集まる」という理念のもと官民一体となった任意団体長崎平和推進協会を発足させ、被爆体験の継承をはじめ、平和に対する意識高揚のための事業に取り組んでまいりました。

長崎市民の悲願である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現という究極の理念達成のためには、さらに確固たる目的をもって永続性のある公益性の高い平和推進体制を樹立し、文化を基調とした事業を通じて、幅広い見識と高い知性の国際感覚に優れた市民を育成することが望めます。

このような理由から昭和59年4月1日、財団法人長崎平和推進協会を設立しました。以来、長年にわたって被爆体験講話をはじめさまざまな平和推進事業を展開して

きました。平成21年4月1日には、財団設立25周年を迎え、同年度中には記念式典や継承シンポジウムなど多彩な記念事業を行いました。

そうした中、100年ぶりともいわれる公益法人（財団法人・社団法人）の制度改革が行われることになり、平成20年12月1日には公益法人改革関連3法が施行されました。当協会は、業務の内容や組織の性格からも公益財団法人に移行することを目指し、2年間ほどの準備を経て、平成23年4月1日に公益財団法人として設立することができ、新たな歩みを始めました。

事業 ※定款から掲載

- (1) 平和に関する諸問題の調査研究
- (2) 原爆被災並びに平和に関する資料の収集、整理、活用及び情報発信
- (3) 被爆体験の継承並びに平和に関する講座、講演会等行事の開催
- (4) 国際平和機関との連携交流
- (5) 被爆体験の継承や平和意識高揚のための助成事業
- (6) 平和に関する出版物の刊行・頒布及び受託販売
- (7) 平和意識の普及に係る物品等の製作・販売
- (8) 法人の目的に適合する諸施設の管理運営等に関する受託事業
- (9) その他法人の目的を達成するために必要な事業

会員制度

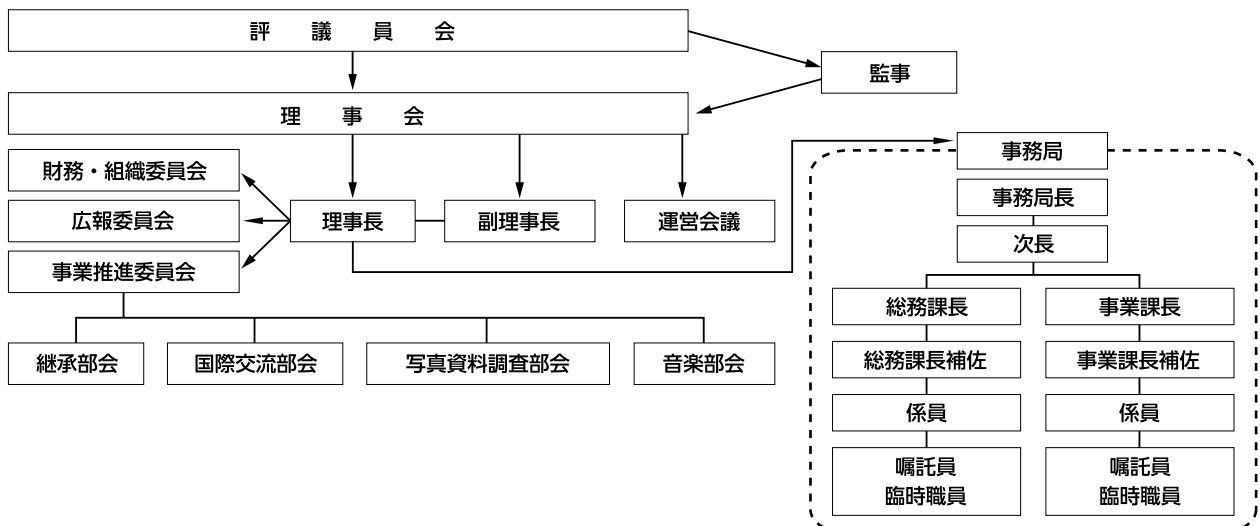
- (1) 会費

維持会員(個人)	年額	3,000円以上
賛助会員(団体・個人)	年額	10,000円以上
学生会員	年額	1,000円以上
- (2) 部会

会員が協会の事業目的を広く周知啓発するとともに、円滑な事業遂行に寄与する。

 - ①継承部会 ②国際交流部会
 - ③写真資料調査部会 ④音楽部会

組織図





公益財団法人 長崎平和推進協会

I 平和推進事業

1 発刊

① 会報「へいわ」の発行(年4回)

(平成29年3月現在153号発行)

協会の事業活動や平和に関する最新情報を提供するとともに、会員のコミュニケーションを図るための機関誌を発刊しています。

会員や関係各機関への送付のほか、平成22年度から広く市民の平和意識の高揚を図る観点から、多くの市民が閲覧できるように、協会ホームページに掲載しています。

1回あたりの発行部数 3,000部 (A4判8ページ)



② ブックレット「平和のあゆみ」の発行(年1回)

協会が設立されてから、これまでにわたる事業内容をまとめ、平和を考える時の参考資料として活用できるよう、ブックレット「平和のあゆみ」を、昭和61年から平成16年まで毎年発刊してきました。(A5判130ページ)

平成17年度版からは、1年間の出来事を中心に、より見やすいように体裁を改め会員や関係各機関へ発行しています。

1回あたりの発行部数 2,000部 (A4判16ページ)



③ 情報BOXの発行(月1回)

会報「へいわ」発行の合間に、事務局の動きや行事の開催予定等の最新情報を掲載して、役員・評議員、部会員や平和案内人等に毎月発行しています。

1回あたりの発行部数 約300部 (A4判・両面1枚)



④ パンフレットの発行

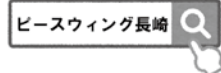
協会の事業内容の紹介とともに、事業活動の状況や会員の特典等を説明した「協会会員入会案内パンフレット」を作製し、原爆資料館や追悼平和祈念館等で配布しています。



⑤ ホームページ (URL : <http://www.peace-wing-n.or.jp/>)

協会の設立趣旨や事業概要、被爆体験講話・平和案内人の申込をはじめ、会報「へいわ」等の情報を掲載しています。

※当協会の愛称「ピースウィング長崎」は広報紙や全国公募ガイド等を通して呼びかけ決定したものです。「長崎から平和を訴えていくための翼となってほしい」という願いが込められています。



2 平和意識の啓発

① 被爆体験の継承

修学旅行等で長崎を訪れ平和学習に取り組む小中高校や一般団体等から依頼を受けて、自らの被爆体験を語り、平和の大切さを伝える被爆体験講話者（継承部会員）を派遣しています。

原爆資料館や追悼平和祈念館のほか、修学旅行の宿泊ホテル等の会場を訪れて講話を行います。県外からの申し込みだけでなく、県内の自治体や団体、来日する海外の団体からも依頼を受けて講話を行います。

また、市内の学校の平和学習の一環として、各学校を訪れて被爆体験を語っています。

平成28年度は、熊本地震の影響等もあり、7年ぶりに1,200件台になりました。

被爆体験講話の年度別件数

年 度	講話件数
平成18年度	986
平成19年度	1,060
平成20年度	1,192
平成21年度	1,282
平成22年度	1,333
平成23年度	1,352
平成24年度	1,342
平成25年度	1,312
平成26年度	1,355
平成27年度	1,369
平成28年度	1,227



被爆体験講話の様子

講話件数、受講者の内訳

区 分	平成27年度			平成28年度		
	講話件数		受講人数	講話件数		受講人数
	件数	うち市内		件数	うち市内	
小 学 校	570	68	54,399人	549	67	53,557人
中 学 校	428	41	60,877人	350	37	45,218人
高等学校	244	3	48,194人	216	4	42,639人
一 般	127	22	12,171人	112	16	10,177人
計	1,369	134	175,641人	1,227	124	151,591人

※表中の「うち市内」は、長崎市内の小学校・中学校・高校・一般の講話件数



② 国内外での継承活動

長崎市内での活動の他にも、全国の自治体等からの依頼を受け、その市町村での講話会等を行っています。被爆体験講話者（継承部会員）による講話と被爆後の写真展示・DVDの上映をとおして、原爆の脅威や惨状を伝え、核兵器廃絶と平和の大切さを訴えています。

また、長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」に協力して、県内の市町や県外の大学へ継承部会員を派遣しています。

他にも、長崎市と開催市町及び当協会の共催で行う「県外原爆展」に継承部会員と写真資料調査部会員を派遣しており、被爆体験講話や被爆の惨状の写真パネル等の展示解説を行い、来場者に原爆被爆の実相を伝えています。

長崎市では県外原爆展開催自治体を募集しています。詳しくは、<http://nagasakipeace.jp/japanese/others/kashidashi/kashidashi2.html> をご覧ください。

[平成28年度 県外での被爆体験講話]

開催都市	企画(主催)	実施日	受講人数	摘要
大阪府八尾市	八尾市	6月28日～7月1日	2,503人	
宮崎県日向市	日向市	7月20日	778人	
秋田県秋田市	秋田市	7月23日・24日	140人	
福岡県北九州市	北九州市、長崎市、当協会	7月24日・25日	250人	県外原爆展
新潟県柏崎市	柏崎市	9月20日	260人	
神奈川県藤沢市	藤沢市	10月19日・20日	2,207人	
千葉県浦安市	浦安市	10月23日・24日	591人	
千葉県我孫子市	我孫子市平和事業推進市民会議 我孫子市、長崎市、当協会	12月4日・5日	320人	県外原爆展

[長崎県主催事業 被爆体験講話者派遣事業 (県内市町)]

派遣市町	実施場所	実施日	受講人数	派遣市町	実施場所	実施日	受講人数
五島市	小・中学校	6月24日	680人	南島原市	小学校	7月5日	424人
雲仙市	小学校	6月27日	243人	小値賀町	中学校	7月8日	96人
西海市	小学校	6月28日	263人	大村市	小学校	7月11日	1,314人
佐世保市	中学校	6月29日	685人	波佐見町	中学校	7月15日	462人
松浦市	中学校	6月30日	210人				

[長崎県主催事業 被爆体験講話者派遣事業 (県外大学)]

大学名	実施日	受講人数	大学名	実施日	受講人数
九州情報大学	7月4日	100人	千葉大学	8月5日	100人
神戸大学	7月13日	170人	佐賀大学	12月8日	50人
早稲田大学	7月16日	230人	九州大学	1月16日	70人

[平成28年度 海外での被爆体験講話]

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館が主催する「海外原爆展」に継承部会員を派遣し、被爆体験講話を行いました。

開催地	イベント名	講話実施日	講話者
ドイツ連邦共和国 ドレスデン市 デュッセルドルフ市	海外原爆展 「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」 (9月21日～10月30日開催)	9月22日・23日、 26～28日 (計8回)	山田一美



クラフトワーク・ミッテ文化センターの展示会場
(ドレスデン市)



ツェツェレーンギムナジウムでの被爆体験講話
(デュッセルドルフ市)

③ 原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）の貸出

修学旅行等の事前学習や写真展等の開催に役立ててもらうため、原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）を無料で貸し出しています。

[原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）貸出状況]

区分	平成27年度			平成28年度		
	写真パネル	DVD（ビデオ）		写真パネル	DVD（ビデオ）	
	件数	件数	本数	件数	件数	本数
小学校	1	7	18	1	1	1
中学校	1	20	46	1	11	23
高等学校	4	33	67	3	22	50
一般（自治体等）	13	34	71	14	25	49
計	19	94	202	19	59	123

④ 講演会の開催

会員及び市民に世界恒久平和への諸問題について認識を深めてもらうため、講演会を実施してきました。平成28年度は、元NHKアナウンサーの宮川泰夫氏をお招きして、心温まる講演をいただきました。

〈これまでの主な講演会（抜粋）〉

開催日	講師（敬称略）	演題	備考
平成9年10月26日	吉永小百合(女優)	原爆詩朗読	国連軍縮週間講演会
平成11年7月28日	吉永小百合(女優)	第2楽章 長崎から	原爆詩朗読会
平成11年12月17日	吉永小百合(女優)	第2楽章 長崎から	原爆詩朗読会
平成15年7月25日	吉永小百合(女優)	原爆詩朗読	協会設立20周年記念 追悼平和祈念館開館記念
平成16年2月25日	美輪明宏(歌手・タレント)	「愛と平和の祈りをこめて」	協会設立20周年記念
平成16年12月18日	吉村作治(大学教授)	「エジプト古代史から 学ぶ戦争と平和」	
平成17年12月9日	なかにし礼(作家)	「自由から創造へ」	被爆60周年
平成18年12月6日	島田洋七(タレント)	「元気・勇気・やる気」	
平成20年2月22日	海老名香葉子(作家)	「泣いて 笑って 頑張って」	
平成21年2月6日	アグネス・チャン(歌手)	「みんな地球に生きる人」	協会設立25周年記念
平成22年2月13日	三遊亭好楽(落語家) 他	「平和寄席」	
平成23年1月30日	<small>ビョンジンイル</small> 辺 真一(ジャーナリスト)	「だれでもわかるコリアレポート ～日本と朝鮮半島の将来～」	
平成24年2月18日	八名信夫(俳優)	「にぎりめしひとつ この 平和を大切にしてほしい」	
平成25年3月16日	上條恒彦(俳優) 加賀美幸子(アナウンサー)	「平和朗読～明日、 あなたが語るナガサキ」	
平成26年2月9日	神田香織(講談師)	「はだしのゲンを 語り続けて」	
平成27年2月7日	蓮池薫(大学准教授)	「夢と絆」	
平成27年12月13日	<small>カンサンジュン</small> 姜尚中(政治学者)	「ナガサキ」と「フクシマ」の 間―核なき世界を求めて―	被爆70周年
平成29年2月19日	宮川泰夫(元アナウンサー)	であいふれあいひびきあい ～「のど自慢」12年の旅から～	



蓮池薫氏講演会



姜尚中氏講演会



宮川泰夫氏講演会

⑤ 国連軍縮週間「市民のつどい」

昭和53年5月23日、第1回国連軍縮特別総会において、国連の日である10月24日から1週間が「国連軍縮週間」と定められ、世界各地で様々な行事が行われています。

当協会では、市民の平和意識の高揚と平和問題への認識を深めることを目的に、協会が発足した昭和58年から会員や市民の皆様の協力のもと「市民のつどい」を開催しています。

平成28年度開催状況

開催日	10月29日(土)
場所	長崎原爆資料館前階段下広場
コーナー	戦時食コーナー、エコ風船コーナー、紙芝居コーナー、原爆写真展示コーナー、折り鶴コーナー、ミニコンサート、綿菓子・ポップコーンコーナー



戦時食コーナー



エコ風船コーナー

⑥ 秋月グラント

平成10年、当協会設立15周年を機に、「ナガサキ平和創設グラント」を創設し、平和意識高揚のための事業等を行う団体や個人を対象として助成してきました。

平成16年、財団設立20周年を迎えるにあたり、当協会の創始者で初代理事長の故・秋月辰一郎氏を顕彰しようという機運が高まり、「秋月グラント」として多くの方々に助成制度を利用していただけるよう門戸を広げました。

平成28年度 秋月グラント事業助成状況

団体・個人名	事業名称	事業目的・内容	実施日・場所
「ゴスペル・イン・文楽」長崎公演 実行委員会	「ゴスペル・イン・文楽」 長崎公演	日本の古典芸能の文楽とキリスト教文化のゴスペルを融合させて愛と平和を伝える。	11月26日 活水高等学校 チャペル
「秋月辰一郎・生誕100年の集い」 実行委員会	秋月辰一郎・ 生誕100年の集い 「NAGASAKI1945 アンゼラスの鐘」上映会	生誕100年を記念して、秋月氏の被爆体験を描いたアニメ映画の上映と監督の講演を行う。	12月23日 長崎歴史文化 博物館ホール

⑦ 平和案内人の育成と派遣

原爆投下から71年が経過し、被爆の惨状を知る被爆者も高齢となりその数も年々少なくなっています。

協会ではこのような現状を踏まえ、原爆資料館や追悼平和祈念館、周辺の被爆遺構のガイドを行う平和案内人の育成・派遣に取り組んでおり、平成16年度の第1期生から6回の育成講座を実施し、現在6期生までの169人が登録・活動しています。

長崎市内の小中学生や長崎を訪れる観光客等を、原爆資料館や被爆の痕跡を残す遺構を案内することにより、原爆の恐怖と平和の大切さへの理解を深めていただいています。

◆活動内容

① 原爆資料館常駐ガイド(無料)

原爆資料館正面玄関に待機し、案内を希望する来館者を30分～1時間程度、原爆資料館や追悼平和祈念館の館内を無料で案内します。

② 原爆資料館予約ガイド(1,500円/平和案内人1人)

市内や県内外の学校、一般団体客から事前に予約を受けて、ガイド1人につき10人をめどに、原爆資料館と追悼平和祈念館を案内します。

③ 碑めぐりガイド(1,500円/平和案内人1人)

学校・一般団体客から事前に予約を受けて、ガイド1人につき10人をめどに、平和公園や周辺の被爆建造物等、希望に応じた箇所を案内します。

◆活動実績(平成28年度)

区分	申込件数	利用者数	ガイド活動人数(延)
常駐ガイド	2,369件	9,826人	1,458人
資料館予約ガイド	72件	2,548人	244人
碑めぐりガイド	285件	11,424人	1,188人
合計	2,726件	23,798人	2,890人

研修活動

平和案内人と事務局との意見交換や研修のため、年3回程度の全体会の開催と、各班の研修を実施しています。

平成28年度は、長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)の広瀬訓副センター長の講義や、継承部会の田川博康氏の被爆体験講話等を行いました。



原爆資料館常駐ガイド



碑めぐりガイド



田川博康氏の被爆体験講話

⑧ 共催・後援事業

平成28年度 共催・後援事業

事業名	主体団体	開催日	開催場所	区分
青少年ピースボランティア 育成事業	長崎市	4月25日 ～29年3月12日	原爆資料館 平和学習室他	共催
第8回～語り合おう In Nagasaki ～外国人による 日本語弁論大会	同実行委員会	6月18日	追悼平和祈念館 ラウンジ	共催
第63回長崎原爆忌 平和祈念俳句大会	同実行委員会	7月23日	原爆資料館平和学習室	後援
第31回長崎平和音楽祭	同実行委員会	7月23日	原爆資料館ホール	共催
第28回ながさき平和大集会	核兵器廃絶地球市民集会 長崎実行委員会	7月24日	原爆資料館ホール	共催
国際平和シンポジウム 「核兵器廃絶への道」	朝日新聞社	7月30日	ブリックホール 国際会議場	共催
第54回原爆忌文芸大会	NPO法人長崎国際文化協会	7月31日	ブリックホール 3階会議室	後援
第9回「紙しばい」発表会	紙しばい会	7月31日	原爆資料館平和学習室	後援
連合2016平和ナガサキ集会	日本労働組合総連合会	8月8日	長崎県立総合体育館	後援
第9回「ヒバクシャ地球1周 証言の航海」	ピースボート	8月18日 ～11月29日	世界20か国以上を 訪問	後援
映画「Paper Lanterns」の 上映会とトーク会	長崎日米協会 在福岡米国領事館	11月14日	追悼平和祈念館 ラウンジ	後援
「ゴスペル・イン・文楽」長崎公演	同実行委員会	11月26日	活水高等学校チャペル	後援
第38回長崎YMCA平和の使者 クリスマスカードコンテスト	長崎YMCA、長崎 ワイズメンズクラブ	11月20日 ～12月25日	長崎YMCA他	後援
長崎国際平和映画フォーラム 2016	追悼平和祈念館	12月10日・11日	原爆資料館ホール他	後援
秋月辰一郎・生誕100年の集い 「NAGASAKI 1945 アンゼラス の鐘」上映会及び記念講演	同実行委員会	10月20日 12月23日	長崎歴史文化博物館 ホール	後援
シンポジウム 「これからの核兵器廃絶 市民運動の課題」	核兵器廃絶地球市民集会 長崎実行委員会	平成29年2月4日	原爆資料館ホール	共催
ナガサキノート連載3000回 記念シンポジウム 「あの日」からをつなぐ	朝日新聞社	平成29年2月15日 ～2月24日	原爆資料館ホール他	後援



3 国際平和交流

① アジア青年平和交流事業

アジア諸国と日本の若者との交流事業は、平成15年、協会設立20周年の記念事業としてスタートし、長崎と韓国やマレーシア等の若者がお互いの国を相互訪問して交流を図ってきました。

平成23年度から、「相互訪問方式」から「企画採用方式」に変更し、若者自身が企画したプログラムを公開審査のうえ、協会から若者グループへの委託事業として実施しています。

今後は、追悼平和祈念館とも連携しながら、事業の新たな発展を目指していくことにしています。

【相互訪問の実績】

第1回（平成15年）韓国青年の来崎（6人）長崎青年の訪韓（6人）

第2回（平成16年）韓国青年の来崎（7人）長崎青年の訪韓（7人）

第3回（平成17年）韓国青年の来崎（6人）長崎青年の訪韓（6人）

第4回（平成18年）長崎青年の訪マレーシア（5人）

マレーシア青年の来崎（2人）

第5回（平成19年）長崎青年の訪シンガポール・マレーシア（5人）

第6回（平成20年）長崎青年の訪シンガポール・マレーシア（5人）

マレーシア青年の来崎（2人）

第7回（平成21年）長崎青年の訪マレーシア（5人）

第8回（平成22年）マレーシア・韓国の青年の来崎（4人）

【公開審査認定事業】

平成23年度 活水高等学校 平和学習部「いしぶみもり活動」

平成24年度 長崎外国語大学 通訳・翻訳プロジェクトA

「国際交流サロンIN長崎」

長崎大学 映画映像制作研究サークル^{とまと}止

「平和の絵／映像制作」

長崎外国語大学 通訳・翻訳プロジェクトB

「被爆者DVD作成」

平成25年度 活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」

長崎外国語大学 国際交流サロンチーム

「Sweets Champion!」

平成26年度 活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」

長崎外国語大学 2014国際交流プロジェクト

「世界の料理を食べようB級グルメ」

平成27年度 活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」

長崎外国語大学 国際交流プロジェクト

長崎県立大学 金村研究室

長崎大学 Peace' story JPN

平成28年度 長崎県立大学 金村先生と愉快的な学生たち

活水高等学校 平和学習部「ふりそでプロジェクト」

【平成28年度認定事業】



長崎県立大学



活水高等学校

② 外国人と市民のつどい

協会の国際交流部会主催で、市内在住外国人や留学生と交流を深め、長崎の平和の願いを理解してもらうため、昭和62年から国際交流のつどいを開催しています。

第30回 開催日 11月19日（土）原爆資料館平和学習室

4 部会活動

① 継承部会

自らの体験や廃墟と化した長崎の街の様子、原爆の悲惨さ、非人道性等を、「被爆体験講話」として話しています。年間実績等、講話の詳細は3～5ページに掲載しています。

講話以外にも、部会内に6つの事業班を作り、被爆体験記等をまとめた冊子「ピーストーク」の編集やインターネット会議システムを使った「ピースネット」への協力等、様々な活動に取り組むほか、平成25年度からは被爆体験の継承問題についても、「継承交流班」を中心に協議を重ねています。

② 写真資料調査部会

被災写真や平和関連資料の収集と調査・整理とともに、定期的に原爆写真展を開催しています。平成28年度は、追悼平和祈念館のラウンジや長崎市立図書館の多目的ホール等で原爆写真展を開催しました。

写真資料調査部会の前身は昭和54年発足の「長崎の被爆写真調査会」で、昭和58年の協会発足時に協会の部会となりました。

③ 国際交流部会

平和公園周辺のガイドや通訳を行う外国語ボランティアとしての活動をはじめ、市内在住の外国人も交えた講演会（年に10回程度）、「ポットラックパーティー」及び「外国人と市民のつどい」等の活動を行っています。

④ 音楽部会

音楽を通じて平和を訴えることを目的として、国連軍縮週間行事の「市民のつどい」において、演奏会等を行っています。また、恒例の長崎平和音楽祭実行委員会の主要メンバーとしても活躍しています。



写真資料調査部会



国際交流部会の折り鶴コーナー
（「市民のつどい」にて）



音楽部会の演奏
（「市民のつどい」にて）

II 長崎原爆資料館運営事業（原爆資料館原爆・平和総合案内業務）

原爆資料館展示室の観覧料徴収や、正面玄関での総合案内をはじめ、展示物の案内、平和公園周辺を含めた市内の観光施設のルート案内など原爆資料館の運営の一翼を担うことにより、協会の目的である平和推進に取り組んでいます。



III 長崎原爆資料館図書資料収集整理事業（原爆資料館図書資料整理業務）

図書室としての情報発信の観点から、原爆被爆の実相や平和推進に関する様々な書籍の購入や資料の収集、整理等を通じて、協会の目的である平和推進に取り組んでいます。



IV 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業（平成28年度の主な事業）

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、平成15年に開館した追悼平和祈念館の施設管理と事業運営を国から受託して、様々な事業を行っています。

原爆死没者の氏名・遺影の登録及び死没者名簿の保管

氏名・写真（遺影）を収集し、登録のうえ館内公開しています。また、死没者名簿を保管しています。

年度別登録状況

年 度	遺影の登録者数
平成26年度	301人
平成27年度	326人
平成28年度	338人
累計	8,741人

被爆体験記等の収集・整理・公開、展示

収集した被爆体験記を館内の情報端末機器等で公開・展示しています。

収集状況

年 度	被爆体験記の収集数
平成26年度	45人分
平成27年度	28人分
平成28年度	73人分
累計	1,247人分

被爆体験記執筆補助

体験記を残す意欲を持ちながらその執筆が困難な被爆者を対象として職員による聞き取りと代筆を行います。平成17年度から累計12人の執筆補助を行いました。



被爆体験記執筆補助

被ばく医療関連情報の収集・整理・提供（被爆者健康講話）

長崎大学医歯薬学総合研究科の協力をいただき、追悼平和祈念館と五島市をインターネット会議システムで結び、健康維持に役立つ健康講話を10回実施しました。

海外原爆展の開催

9月21日から10月30日の間、ドイツ・ドレスデン市で開催しました。開催期間中1,120人の来場がありました。平成17年度からの開催国、都市数は11か国、18都市、累計来場者数は97,023人となりました。

ピースネットの実施

追悼平和祈念館と遠隔地の学校等をインターネット会議システムで結んで被爆体験講話などを実施しており、ベラルーシ、スペイン、ドイツ、タイ等の海外を含めて22回実施しました。



ピースネット

平和ボランティア育成外国語講座

平和公園周辺等を外国語で案内するボランティアガイドを育成しており、英語10人、韓国・朝鮮語9人、中国語9人のガイドが修了しました。

アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム

アジアの若者による平和のネットワーク作りを推進するプログラムを実施しており、マレーシア5人、韓国5人、中国4人の若者と長崎の若者が交流を深めました。

被爆体験記朗読ボランティア育成・派遣

被爆体験記朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ ^{とわ}永遠の会」は、追悼平和祈念館内での常駐朗読を始めとした朗読活動を行いました。（常駐朗読 167回、定期朗読会 16回、派遣朗読30回、朗読劇など 4回）



被爆体験を語り継ぐ ^{とわ}永遠の会

長崎国際平和映画フォーラム

12月10日と11日の2日間、「ビルマの^{たてごよ}豎琴（旧作版）」等の映画4作品を上映し、特別プログラムとして永遠の会と高校生による朗読劇等を行いました。

企画展の開催

テーマに沿った被爆体験記を選出し、追悼平和祈念館が保有する資料や提供いただいた写真・遺品等とともに企画展を開催しました。

平成28年度企画展実績

- ・第6回企画展「十代の原爆」1月20日～12月28日
- ・第7回企画展「原爆の記憶」平成29年1月30日～12月25日

V 収益事業（図書等販売）

平和推進事業の実施に必要な自主財源を確保するために、原爆資料館内で原爆に関する書籍や平和グッズを販売するミュージアムショップを運営しています。平成28年から店舗でのクレジットカード決済を導入しました。また11月から、長崎原爆資料館や追悼平和祈念館に寄贈された折り鶴の再生紙から作られたグッズを販売しています。ホームページでも書籍・グッズの紹介やオンライン販売受付等も行っています。

さらに、ミュージアムショップで販売している書籍・グッズが長崎市ふるさと納税の謝礼品として登録されました。



折り鶴再生紙のグッズ

ミュージアムショップホームページ

URL: <https://www.peace-wing-n.or.jp/shop/>

フォト特集！ 被爆71年を振り返って

「核兵器廃絶と世界恒久平和の実現」の基本理念のもと様々な事業を実施しました。

「永遠の会」朗読会「9日を忘れない」の活動開始（4月）



毎月9日午前11時2分に合わせて原爆資料館いこいの広場で開催する朗読会「9日を忘れない」が「被爆体験を語り継ぐ 永遠の会」の皆さんによってスタートしました。

第6期生平和案内人の活動開始（5月）



被爆70年の記念事業として実施した「第6期生平和案内人育成講座（全15回）」を修了した30人の皆さんが活動を開始しました。

ナガサキ原爆写真展（8月）



アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム（2月）



協会設立記念「宮川泰夫氏」講演会（2月）



公益財団法人 長崎平和推進協会この一年の動き

平成28年(2016年)

- 4月7日 第1回継承部会総会
- 4月15日 ポットラックパーティー (国際交流部会)
- 4月16日 第1回平和案内人全体会
- 5月16日 第1回運営会議
第1回通常理事会
- 5月20日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 5月30日 定時評議員会
- 6月2日 第1回広報委員会
- 7月15日 第2回運営会議
国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 8月1日～9日 ナガサキ原爆写真展 (写真資料調査部会)
- 8月18日 第2回継承部会総会
- 8月31日 第2回広報委員会
- 9月3日 第2回平和案内人全体会
- 9月11日 アジア青年平和交流事業発表・審査会
- 9月16日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 9月21日～10月30日 海外原爆展「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」
(ドイツ ドレスデン市)
- 9月25日 市民対象碑めぐり (継承部会・原爆遺跡研修班)
- 10月7日～3月15日 平和ボランティア育成外国語講座
- 10月12日 第1回事業推進委員会
- 10月21日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 10月28日 第3回運営会議
- 10月29日 国連軍縮週間行事「市民のつどい」
- 11月19日 外国人と市民のつどい (国際交流部会)
- 11月24日 第3回広報委員会
- 11月30日～12月5日 長崎市収集 米国国立公文書館原爆写真展 (写真資料調査部会)
- 12月10日、11日 長崎国際平和映画フォーラム2016
- 12月22日 第4回運営会議



8月1日～9日 ナガサキ原爆写真展



9月11日
アジア青年平和交流事業発表・審査会



11月19日 外国人と市民のつどい



平成29年(2017年)

- 1月20日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 1月22日 第3回平和案内人全体会
- 1月29日 継承部会・平和案内人交流会
- 2月2日~8日 アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム
- 2月17日 国際交流の夕べ (国際交流部会)
- 2月19日 宮川泰夫氏講演会 であいふれあいひびきあい
～「のど自慢」12年の旅から～
- 2月23日 第4回広報委員会
- 2月27日 海外活動報告会 (継承部会・ピーストーク研修班)
- 3月5日 市民対象碑めぐり
(継承部会・原爆遺跡研修班)
- 3月8日 第2回事業推進委員会
- 3月9日 第1回財務・組織委員会
- 3月12日 アジア青年平和交流事業成果報告会
- 3月17日 第5回運営会議
第2回通常理事会
国際交流の夕べ (国際交流部会)



1月29日
継承部会・平和案内人交流会



2月2日
アジアの若者による平和
ネットワーク構築プログラム



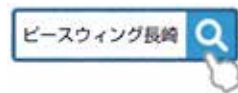
3月5日 市民対象碑めぐり




平和のシンボル「はと」を官と民を示す両手が
受け止めている様子を表しています。

(公財)長崎平和推進協会

〒852-8117 長崎市平野町7番8号
電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
URL:<https://www.peace-wing-n.or.jp/>



URL:<https://www.facebook.com/nagasakipeace/>
Facebookページ

 「長崎市の平和・原爆」

会員募集中

協会会員になって、一緒に平和の輪を広げませんか？